

2018年2月21日

株式会社博報堂

株式会社博報堂プロダクツ

**hakuhodo-VRAR と京都建仁寺、国宝「風神雷神図屏風」を題材に
MR 技術を活用した、新たな文化財鑑賞体験「MR ミュージアム in 京都」を開催**

－ 大本山建仁寺、京都国立博物館にて期間限定で一般公開 －

株式会社博報堂（東京都港区、代表取締役社長：水島正幸）と株式会社博報堂プロダクツ（東京都江東区、代表取締役社長：江花昭彦）による VR・AR の最先端技術を有する専門ファクトリー hakuhodo-VRAR は、大本山建仁寺（京都市東山区）と 2017 年 7 月より、国宝「風神雷神図屏風」を題材に、日本マイクロソフト株式会社と連携し、同社の Mixed Reality（複合現実、以下 MR）技術を使って「体験する」ことをテーマに共同研究を進めて参りました。この度、第一弾となる MR コンテンツが完成し、「MR ミュージアム in 京都」という今までにない文化財の鑑賞体験を、期間限定で一般公開することが決定いたしましたのでお知らせいたします。

今回「MR ミュージアム」の第一弾として完成した作品では、約 10 分の複合現実を体験できます。体験者は『Microsoft HoloLens』を着用し、現実の屏風（複製）と 3D グラフィックを融合した新たな世界に誘われます。案内役は「風神雷神図屏風」を熟知する実際の建仁寺の僧侶。マイクロソフトの MR 専用 3D 撮影スタジオである「Microsoft Mixed Reality Capture Studios」を日本のプロジェクトとして初めて利用し、3D 撮影された僧侶が、俵屋宗達の制作意図や作品に込められた願いを解き明かしていきます。体験者は雷や雨、緑豊かな大地、壮大な宇宙空間など躍動感あふれる描写とストーリーに入り込みます。さらに作品には、宗達に影響をうけて描かれた尾形光琳の「風神雷神図屏風」や、酒井抱一ら琳派による別の「風神雷神図屏風」作品が登場するなど、学習できるレファレンス場面も組みこんでおります。

この「MR ミュージアム in 京都」の体験は、大本山建仁寺と京都国立博物館にて、期間限定で一般公開いたします。
（詳細は後述）

hakuhodo-VRAR では、この新たな文化財体験の技術を、生活者の文化体験を豊かにする意義ある活動と位置づけ、関連する観光・教育・文化産業分野の多様なパートナーと連携し、複合現実でひろがる、新たな体験コミュニケーション創出を推進してまいります。

また hakuhodo-VRAR では、この技術を今後ショールームや展示会、プレゼンテーションなど企業コミュニケーションの領域にも応用し MR 活用における「スペース・エクスペリエンス事業」（商標登録出願中）としてビジネス展開を行ってまいります。

Mixed Reality*：Microsoft HoloLens などを用いて、現実世界の上に 3D グラフィックを出現、融合させる新しいデジタル技術。今後教育や観光、医療、製造、建設などへの活用が期待されている。

《本件に関するお問い合わせ先》

株式会社博報堂 広報室 江渡

TEL：03-6441-6161

■ 一般公開について

・建仁寺でのご体験

日時：2月22日（木）～2月24日（土） 10：00～16：00

MR体験料：無料（別途、建仁寺の拝観料が必要）

場所：建仁寺本坊（住所：京都市東山区大和大路通四条下る小松町）

アクセス：電車でお越しの方：京阪電車「祇園四条駅」より徒歩7分

バスでお越しの方：JR京都駅より市バス206系統・100系統

京都駅よりタクシーで約10分

【拝観時間】10:00～16:00（16：30分閉門）＊11月1日～2月28日の期間

＊3月1日～10月31日は10：00～16：30分（17時閉門）まで

【拝観料】一般500円、中高生300円、小学生200円

＊小学生未満のお子様は無料

・京都国立博物館でのご体験

日時：2月28日（水）～3月2日（金） 11：00～17：00（最終日3/2のみ～13:00）

MR体験料：無料（別途、京都国立博物館の名品ギャラリー観覧料が必要）

場所：京都国立博物館 平成知新館2階ミュージアムラボラトリー（住所：京都市東山区茶屋町527）

アクセス：電車でお越しの方：京阪電車「七条」駅下車、東へ徒歩7分

バスでお越しの方：市バス206号、208号系統にて「博物館・三十三間堂前」下車、徒歩すぐ

京都駅よりタクシーで約10分

【開館時間】9:30～17:00（金・土曜は～20:00）＊入館は閉館の30分前まで。

【観覧料】一般520円（410円）、大学生260円（210円）

＊高校生以下および満18歳未満、満70歳以上の方は無料

＊（ ）内は団体20名以上

※一般公開 注意事項

- ・事前の予約は承っておりません。実施期間中に会場まで直接お越し下さい。
- ・一度に体験できる人数に限りがございます。希望者が多い場合、お待ちいただくことや体験できない場合がございますのでご了承ください。
- ・ミュージアムラボラトリーで展示される「風神雷神図屏風」は複製です。この期間中、本物は展示されません。
- ・コンテンツ内容は日本語のみ、対象年齢は13歳以上です。

詳細は以下 Web サイトをご参照ください。デモ映像とメイキングムービーもこちらでご覧いただけます。

<https://hakuhodo-vrar.jp/kyoto2018/>

■ 臨済宗建仁寺派 大本山建仁寺

京都最古の禅寺である建仁寺は、臨済宗建仁寺派の大本山。開山は栄西禅師。開基は源頼家。鎌倉時代の建仁二年（1202年）の開創で、寺名は当時の年号から名づけられている。山号は東山（とうざん）。諸堂は中国の百丈山を模して建立された。創建当時は天台・密教・禅の三宗兼学であったが、第十一世蘭溪道隆の時から純粋な臨済禅の道場となった。八百年の時を経て、今も禅の道場として広く人々の心のよりどころとなっている。

国宝「風神雷神図屏風」俵屋宗達 筆



紙本金地著色 各 154.5×169.8 cm 江戸時代（17世紀） 所蔵：大本山 建仁寺

「MRミュージアム in 京都」における鑑賞体験のイメージ



Microsoft HoloLens 関連イメージ

Microsoft HoloLens 本体写真



Microsoft Mixed Reality Capture Studios での収録の様子



■ Microsoft HoloLens

Windows 10を搭載し、携帯電話やPCなどの外部機器と接続する必要がなく、ワイヤレスで使用できる、全く制約の無い初めての自己完結型ホログラフィックコンピューターです。HoloLensを通して、目の前に見えている現実世界の中にホログラムを配置して、現実世界とデジタルが融合した世界を様々な角度から見たり、デジタルコンテンツを操作したりすることが可能となる新しい世界（Mixed Reality/複合現実）を実現します。今回の「MR ミュージアム in 京都」の制作では Microsoft Mixed Reality Capture Studios

（ <https://www.microsoft.com/en-us/mixed-reality/capture-studios> ）の3D撮影技術を日本のプロジェクトとして初めて活用し、鑑賞体験の案内役の動きを高精細で滑らかな3Dグラフィックとして再現しています。HoloLensの詳細は下記Webサイトを参照ください。

<https://www.microsoft.com/microsoft-hololens/ja-jp>

■ hakuodo-VRAR 概要

クライアントのプロモーションやマーケティングの新たな手法としてVR・ARの最先端技術を駆使する博報堂と博報堂プロダクツの専門ファクトリー。博報堂の持つ「高いクリエイティブ力」「戦略・企画力」と、博報堂プロダクツの得意分野である「デジタル技術」「映像・編集技術」「3DCG」「イベントプロデュース」の実施力を掛け合わせるべく、両社の経験豊富なエキスパートを結集。そのインフラ・装備を駆使しながらVR・AR、及びMRの可能性を存分に活かしたプロモーションを、情報拡散まで360°&ワンストップで提供いたします。

MR活用における「スペース・エクスペリエンス事業」はその活動の中核であり、従来の映像コミュニケーションをまったく新しい体験コミュニケーションに進化させるhakuodo-VRARの新しい体験型デジタル施策の総称です。

また、博報堂と博報堂プロダクツは、マイクロソフトのMicrosoft Mixed Realityパートナープログラムの認定パートナーとして認定されており、今後、hakuodo-VRARは、日本マイクロソフトと連携して、複合現実でひろがる、新しい文化体験を提供していきます。